



奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

発行日 2024年11月19日

2024-2025/17

Vol.46

No. 2120

2024-25年度会長スローガン
「皆が主役、一つひとつの
機会を大切に」

2024-25年度 RIテーマ



RI会長 ステファニーA. アーチック

地区スローガン

「持続可能なロータリーに！

共に学び、共に行動」

RI第2650地区ガバナー

中本 勝

- 創 立：1979年1月23日
- 例 会：毎週火曜日 17:30～18:30
- 例 会 場：奈良ホテル本館
奈良市高畑町1096番地 電話 (0742) 26-3300
- 事 務 所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp: <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail: info@naraomiya-rc.jp
- 会長：宮西 正伸 ■副会長：水野 憲治 ■幹事：門脇 伸幸

お客様紹介

・元米山奨学生(彦根南ロータリークラブ) 蔡佳蓉 様

会長挨拶と理事会報告

【宮西会長】



今月はロータリー財団月間です。後程、ロータリー財団委員会の川端委員長から、お話をいただきますが、皆様のご協力をお願い致します。

さて、いよいよインターアクト地区大会も今週末に迫ってまいりました。本年度のクラブ方針は、会員様の皆が主役ですが、この2日間は、インターアクターが主役です。私の皆様へのご案内不足もございましたが、ご出席の会員様におかれましては、青少年奉仕に関して、何かを感じ取っていただけた2日間になればと思っております。何卒宜しくお願い致します。

本日は第5回定例理事会が開催されましたので、主な内容をご報告させていただきます。まず、社会奉仕委員会より、12月2日(月)15:30～17:00まで、奈良警察署に於きまして、年末飲酒運転根絶および夜間の交通事故防止啓発活動を開催する件が承認されました。また、親睦活動委員会より、少し先になりますが、来年3月15日(日)、第3回親睦家族例会として、大阪で開催されます大相撲春場所観戦の企画が承認されました。その他の詳細につきましては、皆様に議事録を配布させていただきます。

では、残りの時間は、「ロータリーの友」のご案内をお願い致します。有り難うございました。

詳しくは動画をご覧ください。

例会プログラム

第18回 11月19日 通算2120回

1. 握手挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. 会長挨拶
5. 例会状況報告
6. 委員会報告
7. 幹事報告
8. 卓話
9. 閉会点鐘

例会状況報告

11月5日 通算2119回

- ・会員数 65名
- ・出席免除者数 14名
- ・出席者数 51名
- ・出席率 87.93%

10月22日 通算2117回(修正)

- ・会員数 66名
- ・出席免除者数 14名
- ・補填者 11名
- ・出席率 94.92%

お客様紹介



【北河原 様】

皆様、こんばんは。私が本日ゲストとしてお招きしたのは、元米山奨学生の蔡佳蓉（サイカヨウ）さんです。数年ちょっと前に2650地区の彦根南ロータリークラブがサポートした奨学生で、ご出身は台湾です。実は彼女のお母様も奈良ロータリークラブがホストした元米山奨学生で、彼女も奈良に縁がございます。現在、彼女は前知事公舎跡にあるホテル紫翠で勤務しております。機会があれば食事にも行っていただけたらと思います。また、彼女は滋賀大学大学院の経済学部を優秀な成績で修了されました。私も米山記念奨学会の理事をしておりますので、本日は元米山奨学生として、私の招待でうちのクラブにご出席いただきました。

ご挨拶



【蔡佳蓉（サイカヨウ）様】

皆様、初めまして蔡佳蓉と申します。台湾の台南出身です。日本に来て8年目になります。滋賀大学に4年間通っていきまして、彦根南ロータリークラブの方で2年間お世話になりました。本日、北河原様にご招待いただきまして、皆様の例会に参加することができてすごく嬉しく思っております。これからも皆様にお会いすることを楽しみにしておりますので、今日はよろしく願いいたします。

委員会報告

【会報・雑誌委員会 松岡委員長】

- ・ロータリーの友読みどころ

【ロータリー財団委員会 植村前年度会長】

皆さん、こんばんは。昨年度のご報告となりますが、皆様の多大なるご協力のおかげで、ロータリー財団管理委員会よりバナー2つと感謝状1つをいただいております。バナーの1つは、「Every Rotarian, Every Yearクラブ」ということでございます。この表彰を受けるクラブは世界でわずか3800クラブ、3800はわずからしいんですけども、1ロータリー年度の会員1人当たりの年次基金への寄付額が100米ドル以上であり、正会員全員が年次基金に少なくとも25米ドル以上を寄付したクラブということなんです。もう1つのバナーは、「100%ロータリー財団寄付クラブ」です。これは同じく世界でわずか4600クラブらしいです。これも平均寄付額が1100米ドル以上であり、会費を支払っている全ての会員が年度内に25米ドル以上を寄付したということなんです。そして、感謝状は「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状ということなんです。少なくとも1500米ドルをポリオ根絶活動に寄付したクラブに贈られます。これらは皆様のおかげです。どうもありがとうございました。

【出席委員会 野崎委員長】

- ・出席報告

【ニコニコ委員会 武中委員長】

- ・ニコニコ報告

【職業奉仕委員会 志茂委員長】

- ・地域別職業奉仕担当者懇談会（奈良）10月27日（日）の報告

皆様、こんばんは。具体的な内容としては、主にディスカッションが中心で、2つのグループに分かれまして、職業倫理について、それから4つのテストを基に自分の仕事にどのように生かしているかっていうことをディスカッションし、発表をさせていただきました。皆さん仕事はバラバラなんですけれども、真実かどうか、それから、相手が何を求めているか、それが倫理観にあっているのかどうかというところを考えながら仕事をしているということをお互に共有させていただきました。また、職業奉仕のアイデアということをお互に参考にしていただきということで資料もいただきましたので、今後の職業奉仕の活動に活かしていきたいと思っております。報告は以上です。

【社会奉仕委員会 山口委員長】

皆さん、こんばんは。社会奉仕委員会から2点ご案内がございます。まず1つ目です。来月12月2日（月）に、飲酒運転撲滅運動がございます。今年も例年通り、幼稚園児が来て、歌を歌って、飲酒運転撲滅を願います。そして我々はサンタクロースに扮する。サンタになりたい方は、私の方まで連絡していただけたら幸いです。2点目です。これが社会奉仕委員会の今年度のメイン事業でございますが、来年の2月16（日）に、防災訓練を大宮小学校で、地区の自治会と消防局の方々の協力のもと開催させていただきます。地区補助金を使用させていただき、レスキューキッチンという大型調理器具を用いまして、それを使用して振る舞うということをしていただきたいと思います。詳しくは、来月以降説明していきたいと思いますので、これもたくさんのご参加お待ちしております。以上です。

【国際大会 潮田会員】

皆さんこんばんは。2024年-2025年のRI国際大会がカルガリーで、来年の6月21日から27日に行われます。団体で行きたいと思いますので、参加希望の方ございましたら11月中に申し込みをお願いします。現在、国際線が非常に込んでおり、なかなか飛行機が取りにくいです。特に、帰りがインバウンドの人たちと一緒にあって、思ったように席が取れない状況です。11月中に！一応大体の人数を申し込みたいと思いますのでお待ちします。

【IACサポート委員会 高野委員長】

今週末、9日（土）、10日（日）よろしくお願いします。最後に忘れやすい注意点だけ申し上げておきます。ジャンパーをお忘れないように持ってきていただきたい。それと、指定された車以外は駐車場をご用意しておりませんので、極力公共交通機関でお越しいただきたいです。当日よろしくお願いします。

【IA委員会 向井委員長】

11月1日の夕方、奈良女子大附属中等教育学校でIAC例会が行われました。11月9日（土）、10（日）に行われますIAC地区大会のスケジュールの確認と事前の打ち合わせがメインとなっております。繰り返しになるんですがけれども、今週末、エクスカッション初日のご案内と2日目の会議の運営等ご協力をよろしくお願いいたします。

幹事報告

- ・指名委員会が本日例会終了後若草の間で開催されます。
- ・11/9（土）・10（日）IAC地区大会 黄色ジャンパー着用。
- ・次週11/12（火）休会。次回は11/19（火）例会開催

◎状差し

- ・財団寄付の封筒
- ・ロータリーの友
- ・ガバナー月信

◎受付出欠表

- ・11/9（土）・10（日）IAC地区大会
- ・12/2（月）飲酒撲滅セレモニー
- ・12/15（日）家族親睦例会

【川端ロータリー財団委員長】



こんばんは。11月はロータリー財団月間になります。先ほど幹事の方から報告がありましたですけれども、例年のことですが、皆さん方の状差しの方に年次寄付封筒を入れさせていただいてますが、今年の金額は2万4000円以上となっておりますので、どうか皆さんのご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。今日は今年度の財団の目標としまして、「クラブに寄り添ひ、すべての委員様に財団の仕組みを理解していただき、皆さんのご意見に耳を傾ける」ということとございます。ロータリー財団は非営利団体であり、ロータリアンをはじめ、「より良い世界を築こう」というビジョンで共有する財団支援の皆さんから自発的な寄付によって支えられております。今日は、ロータリー財団の方からビデオを頂戴しております。

これは、今年、皆さん方に、徹底して財団の内容、仕組みを知っていただくということで作成されたものでございます。

時間は大体2時間ぐらいになるんですけれども、その中からピックアップさせていただきまして、「ロータリー財団の歴史」、「ロータリー財団モデルとシェアシステム」、「地区補助金」、「グローバル補助金」について、各委員長さんがこういうビデオを作っていただきましたので、これを放映させていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

（ロータリー財団の歴史）のビデオ上映

ロータリー財団のビジョンは今から100年前、1917年のロータリー大会で、アーチ・クランプ会長は世界で良いことをするための基金を提案しました。クランプ会長のビジョンはクラブを超え世界へと拡大、26ドル余りの資金で始まった基金は、100年で37億ドルの資金を人道奉仕に還元してきました。

ロータリーのプロジェクトはどれも1人のアイデアから生まれ、ロータリーのボランティアの力で大きなプロジェクトに成長し、世界を変えていくのです。ロータリークラブには本当に変化をもたらしています。

財団の最初の補助金は、身体障害のある子供たちのためのものでした。そして今、ポリオのない世界は実現できる日が近づいています。

165地区におけるポリオ撲滅活動は、1995年のカンボジアミッションから始まり、今日までにアジア、オセアニアを中心に25カ所でポリオワクチンの投与と教育支援、人権支援を行っています。

昨年2016年秋、ラオスでポリオミッションが行われました。

大戦の終わった世界のために、国際研究のための奨学金を提供しました。今日、世界平和を推進する人材を育成しています。社会貢献をする熱意だけでは足りません。

そのための教育の機会を提供すること、それが役目です。ロータリーの真意は、人としての職業、人としての繋がり、そのために研究グループ交換制度を作り、現在は世界中で職業研修チームを派遣しています。

自分の専門スキルを活かして人々の生活を改善できるのです。

もっと大規模なプロジェクトを実施できるよう、財団の資金提供を始めています。

今日、財団は影響が末永く続くプロジェクトで人類の難題に取り組んでいます。

アーチ・クランプの100年前のミッションは今も息づいています。ロータリー財団は世界を変える手段です。信念を持ってビジョンの行動に移す。これこそロータリーです。

（ロータリー財団モデルとシェアシステム）のビデオ上映

皆様、こんにちは。地区ロータリー財団委員会副委員長を務めます木下哲次です。所属は京都南ロータリークラブです。それでは、ロータリー財団モデルとシェアシステムについてご説明をさせていただきます。

先ず初めに、ロータリー財団とは、正式名称は国際ロータリーのロータリー財団です。非営利団体で、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団。支援者の自発的な寄付のみによって支えられています。

国際団体の目的を推進するための単独の信託機関として、全資産を維持、投資、管理、運営をしています。

ロータリー財団は、ロータリークラブ及び地区を通じて実施される、実施され承認された人道的及び教育的活動を支援するための寄付を受け、資金を配分する非営利団体であると定義されています。そして、ロータリー財団及び国際ロータリーへの使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することであると、その使命がうたわれています。

標語は皆さんご存知の通り、「世界で良いことをしよう」です。

ロータリー財団は、皆様の寄付を資金とし、皆様にプログラム参加によって地元及び国際社会に貢献をしています。寄付を配列しますと、恒久基金寄付、年次基金寄付、その他の基金寄付に配列されますが、主には恒久基金寄付、年次基金寄付かと思います。

ロータリー財団のプログラムは、グローバル補助金、地区補助金、ロータリー平和センター、ポリオプラスなどのプログラムがあります。グローバル補助金は、2カ国以上のクラブ、地区が7つの重点分野に関するプロジェクトを共同提唱し、立案実施する国際プロジェクトに利用される補助金です。

奨学金でありますとか、職業研修チーム、人道的プロジェクトなどに補助金が使われ、補助金の下限は1万5000ドル、上限は20万ドルとなっています。

地区補助金は、地区やクラブの裁量で、地元社会や海外で実施する人道的、教育的、社会的な多種多様な奉仕事業に使用することができます。

奨学金、海外留学でもこれは可能です。職業研修、人道的プロジェクト、災害復興支援、また、海外での奉仕事業に活用があります。また、ロータリーのある国、ない国のどちらでも実施することができます。ロータリー平和センターは、紛争解決と平和に関する国際問題についての研究するための奨学金です。

次に、ポリオプラスは、ポリオとともに、はしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして同時追放を目的とする活動です。ロータリーでは、ポリオの世界的根絶を国際ロータリーの最優先事項としています。

さて、財団によるシェアシステムの財団の資金活用ですが、年次基金寄付は、3年後に国際国際財団活動資金と地区財団活動資金に運営費として5%が引き出された後に2分されます。

恒久基金寄付は、収益分のみがシェアに基づき配分をされます。

財団では、地区が十分な時間をかけてプロジェクトを計画、選択できるよう、また、投資収益の運営費、寄付推進と一般管理費等に充てることができるように、計画された3年間の資金サイクルを採用しています。

地区から年次基金寄付への寄付は3年間投資され、3年後に運営費として5%が引き出されたのち寄付の50%が国際財団活動資金などで、残り50%が地区財団活動資金DDFに充てられます。

財団は、WFとなった資金をすべてのロータリアンのための補助金やプログラムに使用、利用します。

地区は、DDFを使用して補助金やプログラムに参加することができます。また、WFの5%までが必要に応じて財団の運営費に充てられます。

地区活動、地区財団活動資金のうち、その50%は地区補助金の財源となっております。

国際財団活動資金（WF）、これはロータリー財団管理委員会が用途を決定します。クラブや地区が経過するグローバル補助金に使用されます。

また、ロータリー平和センタープログラム等にも活用がされます。地区活動資金（DDF）のうち50%が地区補助金の財源となり、地区補助金は、各クラブからいただきました申請書を一括で地区として財団の方に補助金申請をいたします。残りの50%は、クラブや地区が計画するグローバル補助金事業の資金としてして使用されます。

また、「ポリオプラス基金」、「ロータリー平和フェローシップ基金」、「ロータリー平和センター恒久基金」等への基礎にも活用がされます。

以上でロータリー財団モデルとシェアシステムの説明を終わらせていただきますが、各クラブに置かれましては、ロータリー財団モデル、いろんな補助金プログラムを活用されて、より充実した奉仕事業ができるように考えていただければと思います。

また、各補助金プログラムにつきましては、ロータリー財団の各委員会でも相談を受けますので、よろしくお願いします。以上です。

(地区補助金について) のビデオの上映

地区補助金委員会、今年度委員長の西枝でございます。所属は京都西ロータリークラブです。それでは、地区補助金委員会の説明の方をさせていただきます。

地区補助金委員会は、各クラブの地区補助金申請をスムーズに行っていただくことをサポートすることが主な役割になっております。

具体的には、ロータリー財団が定める地区補助金授与と受託の条件を理解していただくために、補助金ハンドブックの編集や申請書の作成のアドバイスを、また、地区補助金事業の変更の相談などを受けております。

地区補助金の流れなんですけれども、昨年の流れを基に説明をさせていただきます。昨年1月27日に財団補助金管理セミナーにて、地区補助金の申請方法や次年度の変更点を説明させていただきます。

3月1日から地区補助金申請書の受付を開始し、提出されました。申請書のチェックや提出される前に担当者からご連絡をいただいて、申請書の内容についてご相談を受けたりしておりました。また、こちらで内容の修正や書類の不備があった場合は、クラブの担当者宛に担当委員が連絡をさせていただきました。

5月18日に最終の地区審査会を行いまして、承認を得られたプランを一括してロータリー財団へ申請をしております。例年では、7月中旬から8月中旬にロータリー財団により承認結果連絡がありまして、そこから各クラブは地区補助金を活用した事業を開始することができるという風な流れになってます。現在の状況なんですけれども、ロータリー財団に申請をしている状況ですので、承認通知があるまでは地区補助金を活用した事業は、決して開始をすることはできませんので気を付けてください。

また、ご覧いただいているとわかります通り、財団地区補助金管理セミナーから補助金の申請までの期間が非常に短くなっていますので、セミナーに出席してから事業を考えると時間があまりありませんので、できれば次年度の体制が決まった時から、補助金を活用した事業について色々とクラブで検討していただけると、より意味のある事業をしていただけたと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、今年度の地区補助金の審査結果なんですけれども、申請クラブ数が80クラブ、申請金額が33万3098ドルに対して、地区補助金の上限額は27万5243ドルでした。

ご覧の通り、申請額が補助金上限額を上回っていましたので、申請クラブ全クラブより一律17.4%申請金額から確保させていただきました。

こちらの審査結果を受けまして、地区補助金委員会でも色々と問題があることが議論されました。やはり大きな問点は、昨年引き続き大幅なカットが発生したことになります。資料で近年の数字を表していますが、申請クラブ数は年々増加していますが、補助金上限額は年々減少しています。

こちらの補助金上限額は、3年前の年次基金寄付全額と恒久基金寄付の収益部分の合計金額の23.75%がこちらの金額になります。

ロータリー財団への寄付額が少なくなっていることがわかります。

申請クラブ数と補助金上限額の乖離があり、カット率が大きくなっている主要原因になっております。

この原因に対処するためには、色々な要素を加味する必要がありますが、大幅なカット率を是正するためには、申請クラブ数を少なくすることはできませんので、各クラブの寄付額を増やしてもらう必要があります、そのためにロータリー財団への年次寄付目標を達成した場合にはメリットを設定することっていいのはいい動機になるかもしれないと思っています。

また、寄付金額と分配について、ロータリー財団寄付総額が多いクラブと少ないクラブでは現在は、一率の倍率設定をしていますが、こちらをフラグ機構（寄付額の数値）による倍率変更にすると、公平感を少しやわらることができるという風に考えることもできると思います。あまり極端な倍率の差を設けると、会員数の少ないクラブの活動を制限することになってしまうので、配慮が必要があると。

また、最後に今年の地区補助金事業について、補助金ハンドブックで説明が不明確な部分があったので、継続事業について明確な線引きを行うようにします。また、寄贈事業については、行政への寄付は禁止されていますので、こちらハンドブックやセミナーを通じてより周知をできるようにしていきたいと思っています。

地区補助金委員会では、記載の通りの問題点を是正していくために議論を、各クラブからの意見を徴収して結論を出していきたいと思っています。

8月のセミナーでは、各クラブの意見を聞くことができる貴重なセミナーになると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
先ほどもお話の中にありましたように、地区補助金、2年度の申請はですね、来年の申請は3月3日より開始されまして、締め切りは4月中旬ということになっております。そして、7月中頃には承認の予定ということでございますので、よろしくお願いいたしますということでございます。

（グローバル補助金について）のビデオの上映

グローバル補助金委員会の鶴田哲司と申します。所属は京都東ロータリークラブです。私の方からは、本日、グローバル補助金の仕組みについてお話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
グローバル補助金の対象になるという事業についてですけれども、この3つあるんですけれども、人道的奉仕プロジェクト、それから職業研修チーム、そして奨学金と、この3つが対象となるわけなんですけれども、私の方から、この上2つ、人道的奉仕プロジェクトと職業研修チームのことについてのお話となります。
人道的奉仕プロジェクト並びに職業研修チーム申請の要件なんですけれども、事業総額が3万ドル以上であるということが決めております。
事業予算の組み立て例なんですけれども、例えば総事業費が6万ドルかかるということになれば、地区活動資金、これは地区の方で用立てする資金なわけなんですけれども、それにプラスいたしまして、最終承認ですね、RIの方で最終承認が通りますと、WF、国際活動資金というものがそのDDFの80%ト上乘せされるということになりますので、それぞれのクラブさんの現金支出、これをDDFの10%という、これ地区の規定として定めております。原則として10%用意していたということになれば、6万ドルの事業をするならば、3万ドルのまま、他にも協力クラブあるいはその他を集めてくるということがありますけれども、成り立つというところになります。
それから、海外のクラブと共同で行うということ、2つのクラブですね、日本側が代表提唱するか、あるいは協力提唱するかということなんですが、どちらかが代表提唱、そしてもう1つの協力提唱という形で、2クラブ共同でこの事業を行うということを定められております。それから、ロータリークラブがある国や地域が対象であるということになってます。4つ目ですけれども、7つの重点分野に該当することということなんです。7つの重点分野とは何かという話なんですけれども、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、地域社会の経済発展、それから2年前に制定されました環境保全について、この7つの重点分野にその事業が合致しているということが必須となっております。それから、申請の要件なんですけれども、持続可能であるということがあります。例えば、その事業を行った時はそれで満足されるかわかりませんが、半恒久的にそのプロジェクト、事業があるというような状況を作ってもらうこと、持続可能性があるということっていうのは必ず必要です。
それから、成果が測定可能であるということでもあります。
これ具体的に例えば数字で表せるところっていうのは、測定可能であるということやったけれども、それが結果として有効性があるのかどうかというのが掴めないということであって、これは承認おりないということになります。それから、対象地域の現地調査がこれ必須であるということなんですけれども、これ何かと言いますと、海外から見てその地域に必ず必要であろうという想定のもとに事業を行ったものっていうのは、これは承認がおりません。
実際の現地に行かれて、その現地で調査をされて、本当にそれが必要である、望んでらっしゃるものであるということが確定されなければならないということであり、それから、単なる現金の寄贈に追われないことということで、例えば図書を寄贈いたしましただけではダメです。それから、医療器具を寄贈するだけでもダメです。医療器具を例えば寄贈するならば、その医療器具の使い方であるとかっていうものを教育するところ、いわば物品の寄贈だけではなくて、その仕組みと言いますか、そのシステム教育であるとかというところがプラスアルファはなければならないということになっております。
事業の組み立てと実施までの手順ですけれども、まず、この順番にこれ進めていってもらわなければならないんですけれども、対象と事業内容をまず選定をしてもらうということが、これが最初になります。それから、提携される協力のロータリークラブ、あるいは相手方のロータリークラブ、それを選定してもらうということと合意にまでいくということが2番目。

そこで、事業が決まった、そしてロータリークラブ、相手方のロータリークラブも決まったということになれば現地に調査に行くわけで、現地に調査に行って、實際上その事業というものが必要ある事業であるということを確認をした上において、それならばその事業を全うするために通じていくらかかるのかというところで見積もりを取得してもらうという作業が出てまいります。

それと、先ほどから申し上げてますけども、グローバル補助金の対象となるような内容に整理していただくと調整していただくという作業も必要になってくるかもしれません。それが済みましたら、DDF活用申請書を作成して提出してもらうということに。

このDDF活用申請書につきましては、これ後ほど申し上げますけども、地区の委員会にて審査をさせてもらうということになります。前後になりますけども、グローバルプランとアプリケーションとなります。

グローバル補助金の入力、これはマイロータリーの方から入力することができますし、入力完了いたしますとGGというナンバーが取得することができ、その段階で地区ロータリー補助委員会による審査を実施して、そして最終的に承認、その後、地区ロータリー、財団委員長、地区加ガバナーの承認を頂戴いたしまして、地区段階としてはこれで完了なわけです。

ここから財団本部と書いておりますけれども、これはRIの方の審査が、これはもう全て英語で送られてまいります。メールでのやり取り、追加書類の提出であるとか質問に対しての説明を繰り返しやっていたかどうかというところで、最終的にこのグローバル補助金の法に基づくものなのかどうかという判断でのうえ、RIの方の承認になり、資金の発給がされる。

そして事業を実施してもらい、最終的に報告書の提出と清算を行ってもらうというのが手順となっております。

(川端委員長)

一応時間が30分になりましたので、一応これで終わらせていただきます。

ポリオプラスにつきましては、皆さん方にもご協力いただいております恒久基金の寄付につきましてですね、毎年12月に寄付をいただいておりますけれども、本年度は3名の予定、昨年度は2名の方の寄付がございました。

恒久基金は、1000ドルになっております。昨日、レート見ますと、151円、15万1000円ぐらいですかね。ご寄付をいただきました方にはですね、ベネファクターの認証を受けられるというようなことですので揃って、ご協力いただきたいと思います。本日はご清聴ありがとうございました。

詳しくは動画をご覧ください。

国際ロータリー第2650地区 2024-2025年度インターアクト地区大会

テーマ【大きな災害と小さなわたしー中高生の私たちができることー】

開催日 2024年11月9日(土)～10日(日)

開催場所 奈良女子大学記念館

地区大会概要

11月9日(土) エクスカーション(3コース：東大寺、興福寺、春日大社)

11月10日(日) 開会・閉会式典(奈良女子大学記念館)

分科会(E棟各教室) ①個人でできる防災 ②災害と避難所
③災害とメディア ④災害を語り継ぐ
⑤学校における防災 ⑥誰も取り残さない防災

参加人数 インターアクター138名(インターアクトクラブ：13クラブ)
顧問・教員19名 来賓2名
ロータリー関係者(自クラブ以外)34名 奈良大宮ロータリークラブ35名

○地区大会の様子○

・11月9日(土) エクスカーション

東大寺コース



興福寺コース



春日大社コース



・11月10日（日）式典

- | | | |
|--------|-------------------------|------|
| ①歓迎の言葉 | 奈良女子大学附属中等教育学校 I A C 会長 | 花里 様 |
| ②挨拶 | 地区インターアクト委員会委員長 | 優由 様 |
| ③祝辞 | 奈良市長 | 仲川 様 |
| ④祝辞 | 奈良女子大学学長 | 高田 様 |
| ⑤祝辞 | 国際ロータリー第2650地区ガバナー | 中本 様 |
| ⑥歓迎挨拶 | 奈良女子大学附属中等教育学校校長 | 片岡 様 |
| ⑦講評 | 青少年奉仕担当諮問委員・パストガバナー | 中野 様 |



①



②



③



④



⑤



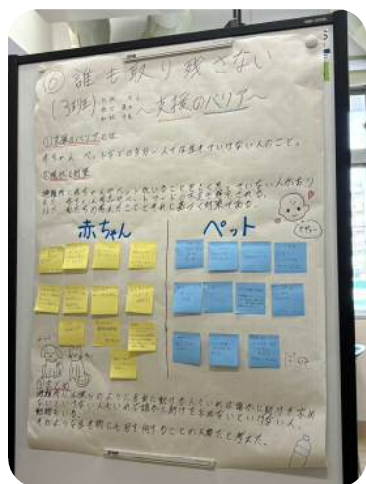
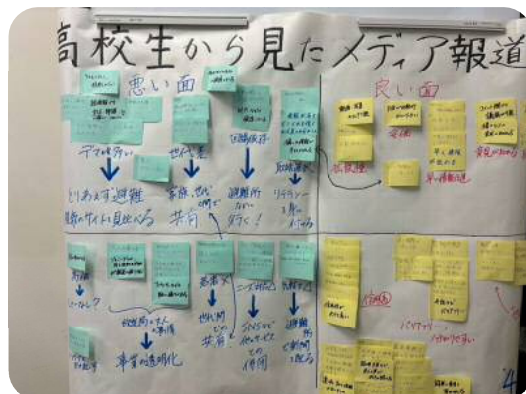
⑥



⑦



分科会





合計 73,000円

累計 1,260,000円

宮西正伸君 蔡佳蓉様、ようこそお越し頂きました。川端ロータリー財団委員長、本日はよろしくお願い致します。

門脇伸幸君 ニコニコ協力

北河原公敬君 第3、第4例会、インドへ行きます為欠席致します。

潮田悦男君 連続欠席のおわび

岡崎真人君 11/10の大和西大寺にてスパイスカレー店をオープンすることとなりました。オペレーションがうまくいく年末くらいにぜひおこしてください。アチャ・プラーナといいます。宜しく御願い致します。

武中洋勝君 川端財団委員長、本日の卓話よろしくお願い致します。

野崎隆男君 11月の例会出席、皆様よろしくお願い致します。

ニコニコ協力 市田富久夫君 植原賢治君 川端昇君 川邊経恭君 河野里志君 塚本勝君 野末勝宏君 堀内眞治君 松井和弘君 松岡浩治君 南谷正仁君 宮坂勝紀君 山口尚紀君 弓場裕史君

◆例会休会・変更のお知らせ◆

<大和郡山ロータリークラブ>

- ・11月25日(月) 例会日変更の為休会 11月26日(火)移動例会に変更
- ・12月23日(月) 例会休会 定款細則第5条第2節適用
- ・令和7年1月6日(月) 移動例会に変更 新年例会
- ・令和7年1月13日(月・祝日) 例会休会 定款第7条第1節(d)適用
- ・令和7年2月3日(月) 例会休会 定款細則第5条第2節適用
- ・令和7年2月24日(月・祝日) 例会休会 定款第7条第1節(d)適用

※いずれもビジター受付は行いません。

<平城京ロータリークラブ>

- ・12月5日(木) 日程変更 40周年記念例会開催の為 12月1日(日)に変更
- ・12月26日(木) 休会 定款第7条第1節(d-1)による

※ビジター受付は行いません。

今後の予定

- ・11月26日(火) 卓話 卓話者：吉野町長 中井 章太 様